

松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会（第7回）開催概要

日 時 平成 30 年 10 月 3 日（水） 14：00～15：05
場 所 松戸市役所 新館 5 階 市民サロン
出席者 秋田典子、石井久雄、影山貴大、高山健太郎、富永尚次、中臺雅樹
(敬称略) (欠席：高橋裕樹、野中範郎)
事務局 松戸市 総合政策部 政策推進課 市政総合研究室

1 「開会」

- 出席者からひとこと
- 事務局の紹介

2 「懇談（地方創生交付金事業の検証について）」

- 事務局から説明
 - ・ 地方創生に関する交付金制度の推移（資料 1）
 - ・ 平成 29 年度に実施した対象事業の概要及び実績等（資料 2）
 - ・ 「対象の各事業が『総合戦略の KPI 達成に有効であったか否か』についての評価」をすることが出席者に対して求められていること
- 検証結果（出席者の評価及び意見）

平成 29 年度実績調書 No.1 （地方創生推進交付金充当事業）	
事業名称	松戸市介護人材育成のための事業
評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった
付帯意見	<ul style="list-style-type: none">・ 初年度には不安な部分があったが、徐々に持ち直し、昨年の KPI の指標と比べても、前に進んでいるのではないかと思う。有効であったと評価する。・ 事業自体は非常に良い人材育成のプログラムであると評価したい。・ 今後も事業を継続していく必要があると感じる。・ 「介護人材育成事業参加者の介護職員初任者研修の修了率」と「正規雇用後の定着率」が 100 パーセントとなっており、この数値のみで全てが見えるわけではないが、KPI の目標を達成し、実績をあげている。それは、かなり大きなポイントではないかと思う。非常に安心している。・ 松戸市の 2015 年の高齢化率が 25.7 パーセント、2030 年が 30.1 パーセント、2045 年が 36.4 パーセントである。要介護と

要支援者数は、2017年が約2万人、2025年が2万8千人ということで、65歳以上の方の約2割が要介護と要支援者となることを想定すると、今回の時点での介護人材育成事業は評価できると思う。

- 「介護人材育成事業参加者で介護職員初任者研修修了者のうち、市内介護福祉施設や市内介護事業所に正規雇用された人数」が、検証対象の平成29年度で5人、目標値としては8人とのことで、3人少ない。平成28年度も目標値より3人少なかった。今後増えていく可能性もあると思うが、感覚としては、もう少し増えてもいいのではないかと思う。
- 「正規雇用後の定着率」の目標値が非常に低いのは、それまでの実績が低かったとのことであるが、それは逆に言うと、ここで実施しているのは「単価を上げた」ということと「検証を行った」ということだけということになる。KPIというのは、数字に現れるのであるが、狙いとしたことに対してどのようにレスポンスがあったのかということを確認することが必要であると思う。なぜ「定着率」がこれまで低く、今回実施したことのうち、何により「定着率」が上がったのか、ということをしちんと把握することが非常に重要である。
- 介護事業に携わっている事業者の方々からも、「人手不足が慢性化しておりかなり厳しい」ということを聞く。やはり、単価の高い東京にどうしても流出しがちであるということで、仕方が無いという流れもある。
- 特に、介護の業界は人材不足が深刻ななかで、このような取組みは非常に大切であると思っている。
- 「介護職員初任者研修」の内容等にまで目が届くわけでもないため、この内容自体がより正規雇用に結びつく内容で継続していけば、大きな変化がなされていくのではないかとも思う。是非、事業を継続してもらいたい。
- 「正規雇用後の定着率」は、人材育成の事業に係る内容だけではなく、長期的には職場の雰囲気などのようなものが影響してくるのだと思う。その様な雰囲気作りや組織マネジメントのような部分も大事であり、人材育成と雰囲気作り、職場環境のようなものも相まって、正規雇用後も長期的に定着していくと思う。それらのことも補足として拾い上げて見てもらえれば良いと思う。
- 研修を受けた人が、ゆくゆくは先輩として、良い指導者として、現場の雰囲気などを上手く改善できるリーダーになれない職場は、どうしても利益重視などで問題が発生したりするた

	<p>め、後輩の面倒をみる人がいれば良いと思う。そのような部分を含め、教育に終わりは無いため、ケアをしていきつつ実施してもらえれば良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格を取った後のフォローのようなことも含めて、実施してもらえれば非常に嬉しい。 この業界は、唯でさえ人手不足、それだけでなくとも条件の良いところへ移っていくような傾向がみられるため、ここを本当に確保していくには、もっと色々な形で工夫を凝らしていかなければ難しいと思う。松戸市の中の介護事業の部分が劣化していくのではないかという気がするため、「何故この部分に市として注力し、どのような形で実施していくのか」ということを、今後もより具体的に、必要性を含めてやっていかなければならないと思う。その辺りを考慮して動いてもらいたい。 今後、要介護などの人数が2万8千人になるというと、日本人だけではカバーできないことも出てくると思うため、外国人の方に研修を行いながら介護事業に携わってもらおうということも、これからは必要となってくるのではないかと思う。 契約内容の『1日あたりの単価』を改善した』などという部分で、現在、将来不安や生活不安などがありつつ有効求人倍率が非常に良くなっているため、目移りをして転職する人も結構いる。企業の側も、その状況を積極的に活用し、良い人材を他社から引き抜こうとするところがあるため、「1日あたりの単価」の改善などの取組みも必要ではないかと思う。 交付金充当額が少ないのではないかと思う。もう少し金額を投下し、研修生と言う形で迎え入れる部分をもう少し増やしても良いのではないかと考えている。 本来であれば行政の範疇では無いのかもしれないが、行政としてどれだけのことができるのか、「松戸市で」という部分がきちんとできているという形でやってもらえれば良いと思う。 「どういうインプットに対して、どういうアウトプットがあったのか」ということがわかると、より良いのではないかと思った。
--	---

平成 29 年度実績調書 No. 2 (地方創生推進交付金充当事業)	
事業名称	コンテンツ産業振興事業
評 価	総合戦略の KPI 達成に有効であった
付帯意見	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の KPI の指標と比べても、前に進んでおり、かなり良いところにきていると思う。 どう見ても KPI 達成に有効であり、成果が非常に出ています

思う。

- ・ 「協議会加盟事業者の従業者数」は目標値より少し少ないが、「協議会加盟事業者の粗利益」が予想より2倍近く上がっていることは、かなり大きいと思う。効果をあげているのではないかと思う。
- ・ 認知拡大に関しては、アイドルグループの方をコンテンツのPR大使に任命して色々な活動をしているところが評価できると思う。
- ・ 人材育成として、市内在住の小学生を対象としたゲーム制作等を学ぶことが出来るプログラミング教室を開設するなどして、裾野を広げているということが、評価できると思う。
- ・ 確かに、色々な自治体がこの様なことをやっている。現在、船橋市を舞台にした「きらきら眼鏡」という映画が製作され、上映されている。鑑賞しに赴いたが、混みあっていた。様々な自治体が「何をしたら良いだろう」と手探りでやっているなか、いち早く松戸市がここに注目して実施している。経済番組でも、松戸市の元ホテルを改装してアーティストの制作活動を支援している事業について紹介されており、どんどん人が入ってくるのであったので、かなり頑張っているのだろうと感じ取った。引き続き頑張ってもらえれば、発展に役立つのだろうと思う。
- ・ 我々の会報誌でも特集をしているが、色々、創業から相談も含めて対応し、我々を利用してもらっているところもある。クリエイターを育てるという仕組みがあり、市内での起業、創業をしてもらうというところが一つの目的でもあると聞いているため、徐々にではあるが非常に良い形で知られてきたのかと思う。
- ・ 市民のうち、どれくらいの人知っているのか、というところの部分には、非常に難しいところはあるのかもしれないが、コンテンツ関係に携わろうとしている若干コアな部分の殆どの方々には、知られてきているということは感じている。
- ・ 「協議会に対するコンテンツ産業に本業で携わる従事者からの認知度」が上がり、もっと知られてくれば、色々な面でより効果が出てくると感じた。
- ・ 「コンテンツ産業に本業で携わる従事者からの認知度」も大事ではあるが、松戸のコンテンツ産業に関して知らない市民の方が多いのではないかと思う。一方で、コンテンツ自体は着々と作られている状況であることから、コンテンツ産業に関しては、産業的にも松戸を売りに出す意味でも大きいと思うた

	<p>め、より認知度を増して欲しい。期待していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、松戸市は子育てに力を入れており、「子育てしやすいまち」というところもあるが、ややもすれば、このようなコンテンツ系は子育て世代に少々敬遠されがちであったりする。このようなコンテンツ系が教育的にも良い影響があるかもしれないといったような切り口で、上手く教育の面とのタイアップがされると、松戸の良さというものがより広まると思う。 ・ 最近、「eスポーツ」など、オリンピックにもこのようなゲーム系の競技も追加されたということもあり、その様な切り口でも非常に面白いと思う。今後の展開に益々期待したいと思っている。 ・ 例えば、仮想社会について言うと、仮想の社会の方々とはいえ、実際に会って皆で盛り上がるという瞬間は結構大事にされると聞いている。そのようなところも、何かのきっかけにできるところがあれば、更に良いのではないかと思う。引続き実施してもらいたい。 ・ 本年度の地方創生交付金事業にあるインキュベーションオフィスの立ち上げについても聞いている。ベンチャー企業の支援オフィスとのことで、松戸市には無かったものであるので、そういった部分も含めて、是非これを有効に使ってもらいながら、「松戸市ではこのようなことをやっている」ということを発信してもらえれば嬉しい。応援していきたいと思っている。
--	--

3 「事務局からの報告」

(1) 次回懇談会（平成31年2月中の開催を予定）にて予定している松戸市総合戦略等の検証について

○ 事務局から説明

- ・ 現状での松戸市の人口動向（資料3）
- ・ 「総合戦略における数値目標・重要業績評価指標の現状値」の収集作業の途中経過（資料4）

(2) その他連絡事項

○ 事務局から説明

- ・ 懇談会での意見等は、庁内関係部署にフィードバックする。
- ・ 懇談会の資料及び懇談概要を松戸市のホームページに掲載する。

4 「閉会」

以上